

## 4. 御手洗池

(三引町)



昭和 60 年に環境庁が選定した全国名水百選の一つです。

聖武天皇の東宮（皇太子）の眼病治療に用いた水と伝えられています。

また、戦国時代、戦に敗れた武将が馬と一緒に入水した底なし沼といわれ、元日の未明に赤い鞍が浮き上がることから赤藏という地名が生まれました。

地元では「お池さん」と呼ばれ親しまれています。